

Y23a **2012年金環日食日本委員会の広報物はどのように使用されたか**

大川拓也, 海部宣男, 大西浩次, 飯塚礼子, 大越 治, 齋藤 泉, 阪本成一, 佐藤幹哉, 塩田和生, 篠原秀雄, 塚田 健, 船越浩海, 洞口俊博, 松尾 厚, 三島和久, 森 友和, 山田陽志郎 (2012年金環日食日本委員会)

2012年金環日食日本委員会は、2012年5月21日の日食を安全に観察するための事前準備を呼びかけ、適切な観察方法に関する知識の普及に努めてきた。とくにマスメディアや行政機関等、日食の情報を広く市民へ伝えられる立場の方々に情報を届けることをめざして活動を展開した。文部科学省から教育委員会等へ、学校向け資料「2012年5月21日(月) 日食を安全に観察するために」の周知が図られたことは、その成果のひとつである。

本発表では、2012年金環日食日本委員会で作成・監修した文書、ポスター、ウェブコンテンツ等の各種広報物がどのように使用されたのか、マスメディア、行政機関、医療機関、学校、書店等に届いた実例を整理し、日食の観察方法の知識が市民へと伝わった過程について分析した。

2012年金環日食日本委員会は、有志によって発足し、日本天文協議会のワーキンググループとして活動してきた。その活動を終了するにあたり、得られた経験と広報ノウハウを抽出して報告する。